空想の機械達の中の破壊の発明（2002）

メディア 映画　アニメ
ジャンル
製作国　日本
色彩　Color
時間　3分

【解説】
　スタジオジブリが制作した短編アニメで、三鷹の森ジブリ美術館においてのみ公開された。戦争で用いられる機械、すなわち兵器の為すべき仕事とは殺戮と破壊だ。現実に運用されている砲台や潜水艦の火力もなかなかのものだが、飛行戦艦や地底戦車そして機動歩兵などといった想像上の産物も強大な破壊力をもって町を焼き尽くす。しかしなんといっても最大級の殺戮をもたらすもの、それは核兵器をおいて他にない。どんな兵器もその炸裂の前には灰塵に帰すのみ……。企画を宮崎駿、そして原作・脚本・監督を『新世紀エヴァンゲリオン』の庵野秀明が手掛けた本作は、家族向けのポジティブな内容が多いジブリアニメの中では屈指の異色作となった。

【クレジット】
監督　庵野秀明
企画　宮崎駿
原作　庵野秀明
脚本　庵野秀明
原画　山下明彦
美術　武重洋二
音楽　久石譲　Joe Hisaishi
声の出演　平淑恵　ナレーション

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.